

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

※本校ではエコスクール推進活動を中心に活動を進めている。

平成24年度エコ活動推進の取り組み

- 目標**
- ・エコ活動を通して、大根布の豊かな環境を守り未来に引き継ごうとする態度を育てる。
 - ・学校でのエコ活動を家庭や地域に生かそうとする態度を育てる。

行動項目・目標

児童	電気エコ	教室にある電気製品は、使うときだけコンセントのスイッチを入れます。 必要のない教室の照明は消します。（教室に誰もいない時、明るい時、清掃時など）
	紙エコ	教室で出る使用済みの紙は、リサイクルボックスに入れます。
	水エコ	無駄な水は流しません。（手洗いの時、歯みがきの時、手洗い場掃除の時など）
	給食エコ	給食は、残しません。
	学習会	なぜエコ活動が必要なのかを集会などを通して知る。
教師	電気エコ	不要な電気（照明、事務機器）は、こまめに消します。 必要のない廊下の照明は消します。（明るい時）
	紙エコ	用紙の両面印刷など、紙使用の減量に努めます。 職員室で出る使用済みの紙は、分別してリサイクルボックスに入れます。 再生紙の使用を推進します。
	水エコ	児童同様

具体的な内容

1. 電気エコ

(1) 目的 学校生活での節電を通して、エコライフの習慣化を図る。

(2) 方法

①校内共通の節電の取り組みをする。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・教室にある電気製品は、使うときだけコンセントのスイッチを入れます。・必要のない教室の照明は消します。（教室に誰もいない時、明るい時、清掃時など）・廊下の照明は、天候などに応じて判断する。 |
|--|

②エコアンケートでふり返る。

③電力消費量のデータをもとに、節電の成果のPRと継続意欲の向上を図る。

- ・エコ委員会を中心となり、データを校内にグラフ掲示及び全校集会等でPRしていく。

③次年度に向けて、データを集積する。

2. 紙エコ

(1) 目的 学校生活での紙のリサイクルを通して、エコライフの習慣化を図るとともに、ごみの減量化を進める。

(2) 方法

- ①教室、職員室で出る使用済みの紙は、「リサイクルボックス」に入れる。もう一度使える用紙は、「まだ使えるよボックス」に入れる。
- ②毎日のごみの重さの計量データをもとに、ごみの減量化の成果のPRと継続意欲の向上を図る。
- ③PTAと連携して、5月の資源回収に出す。2、3学期の終わりは、回収業者に出す。
- ④エコアンケートで振り返る。

(3) 紙の分別方法

①教室

A：まだ使えるよボックス＝裏面再利用可能な紙

B：リサイクルボックス＝ちらし、両面使用済みまたは小さいなど裏面再利用可能な紙 ★テープ、ガムテープ、ホッチキスは取る。

②職員室

A：裏面再利用可能な紙

B：新聞紙

C：その他 分別するボックスへ入れる。

3. 水エコ

(1) 目的 学校生活での節水を通して、エコライフの習慣化を図る。

(2) 方法

- ① 校内共通の節水の取り組みを示す。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・手洗い場清掃時の節水の推進、・手洗い時や歯みがき時の節水の推進 |
|---|

- ②エコアンケートで振り返る。

③水使用量のデータをもとに、節水の成果のPRと継続意欲の向上を図る。

- ④次年度に向けて、データを集積する。

4. 給食エコ

(1) 目的 食を通して、エコライフの習慣化を図る。

(2) 方法

- ① 残菜調査を通して、エコライフの習慣化を図る。

② 残菜量のデータをもとに、残量の成果のPRと継続意欲の向上を図る。

- ③ 次年度に向けて、データを集積する。

5. その他

(1) 保健安全部だよりを通して学校と家庭との協力体制作り

(2) ペットボトルのキャップ集め（PTA活動）

○平成24年度の取り組みについては、23年度の反省を踏まえ23年度とほぼ同じ内容でエコスクール推進活動を行っています。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 その他（ ）